

- 1 中東・北東アジア情勢—メア日本部長はほんとうに更迭されたのか
 - 2 予兆があった「東北・関東大震災」
 - 3 その他のニュース
-

A（朝日）、M（毎日）、Y（読売）、N（日経）、サ（産経）、H（赤旗）の略号です。新聞以外の記事は扱っておりません。また、外国関係の記事は、全て現地時間に合わせていますので、御留意下さい。

ニュースヘッドライン

1 中東・北東アジア情勢—メア日本部長はほんとうに更迭されたのか

☆米メア日本部長の暴言—沖縄県民を愚弄

3. 6 「沖縄はごまかし名人」—米 국무省・メア日本部長暴言—2010.12.3 メア氏、アメリカン大学生ら14人に講義（東京と沖縄へ2週間の研修旅行に出発する直前に大学の要請で）—講義を聴いた複数の学生がメモを基に作成した「発言録」（A 4版3頁）

<発言要旨> 3.7（信濃毎日新聞朝刊、3.7A夕）

海兵隊8千人をグアムに移すが、軍事的プレゼンスは維持し、地域の安全を保障、抑止力を提供する。

…日本政府は沖縄の知事に対して「もしお金が欲しいならサインしろ」と言う必要がある。ほかに海兵隊を持っていく場所はない。

日本の文化は合意に基づく和の文化だ。合意形成は日本文化において重要だ。

しかし、彼らは合意というが、ここでいう合意とはゆすりで、日本人は合意文化をゆすりの手段に使う。合意を追い求めるふりをし、できるだけ多くの金を得ようとする。沖縄の人は日本政府に対するごまかしとゆすりの名人だ。

…沖縄の人はいつも普天間飛行場は世界で最も危険な基地だと言うが、彼らは、それが本当でないと知っている。（住宅地に近い）福岡空港や伊丹空港だって同じように危険だ。…

⇒仲井真知事（記者団）、「総領事館は何のためにあるのか不思議だ。沖縄でいったい何を見て、聞いたのか」／宜野湾市、新城嘉隆氏「沖縄をバカにした発言」「沖縄や日本を理解していない人が、日本部長を務めるのは許せない」／比屋根照夫・琉大名誉教授「沖縄への明らかな差別で、人種差別的発言だ」（3.8M）

⇒3.8 沖縄県議会、全会一致決議—「県民の心を踏みにじり、県民を愚弄し侮辱した発言。断じて許せない」「日米交渉に関与してきた実務者が、今なおこのような認識を持つのは極めて遺憾で看過できない」、発言の撤回と謝罪を要求／那覇市議会、決議「県民を愚弄した発言。差別的で、沖縄県を植民地扱いしている」と非難（3.8M夕）／枝野官房長官、見解（参院予

算委) (メイ発言) 「事実とすれば、沖縄県民のみならず、日本国民の感情を傷つけるもので容認しがたい。報道されていること自体が遺憾だ」 (3.8T夕) →3.9M 「日米外交、再び暗雲—米日本部長発言、枝野官房長官が講義—前原外相辞任、2+2開催に影」 →3.9A (社) 「米高官発言—沖縄への許しがたい偏見」

⇒3.9 名護市議会、抗議決議 (全会一致) (3.9A夕)

⇒3.9 キャンベル米國務次官補 (成田空港で記者団に)、「米国を代表して陳謝する」 (3.10A) →3.10A 「ゆすり発言、日米揺らす—米国火消しに躍起、普天間懸念・メア氏同行せず—沖縄差別に猛反発、抗議決議相次ぐ・知事も非難—2+2に影」 /M(社) 「米高官の暴言—これで対日責任者とは」 /Y(社) 「米高官沖縄中傷—同盟関係損なう不隠な発言」 /T(社) 「メア部長発言—沖縄への理解欠く非礼」 『メア氏発言正確に記録』—聴講の教員ら、オフレコ否定」 /H(主) 「米國務日本部長発言—歴史ゆがめ侮辱した責任重大」

⇒3.10 米、メア日本部長更迭—キャンベル國務次官補、松本外相に報告と謝罪 (3.10Y夕)

⇒3.10 ルース駐日米大使、沖縄で謝罪—沖縄県仲井真知事と面会し、謝罪 (3.11A) →3.11A夕 『ゆすり』発言—更迭でも解けぬ怒り、『根底に沖縄への差別』 「基地問う映画、全国キャラバン」

⇒3.11 仲井真知事、発言「県民の感情を逆なでした。何年かかっても (信頼関係が) 元に戻るかわからない溝になっている」 (3.11A夕)

2 予兆があった「東北・関東大震災」

3.9 宮城で震度5弱の地震 (午前11時45分頃) —震源地は三陸沖、Mは7.2と推定 (3.10M夕)

☆東日本巨大地震—人と街をのみ込む大津波

3.11 午後2時46分頃、東日本大地震発生—M8.8世界最大級、大津波が人と街をなめつくす—死者・不明1万数千人に /午後3:14政府、緊急対策本部設置 /午後7:50、政府、原子力緊急事態宣言→3.13政府、M9.0に訂正—チェルノブイリ事故に近く→3.12A 「東日本大震災、M8.8世界最大級—震度7、死者・不明600人超」 「福島原発、冷却不能か—政府、住民に避難指示」 「津波にのまれ町炎上—港の重油タンク火災、沿岸の住宅に延焼—政府、補正予算を検討、『総力を挙げて対策』」 「断層600キロ破壊か—津波速度、ジェット機並み」 「激震インフラ寸断—JR・新幹線、空路停止、落城で橋崩落、車が湖へ—東北全域、ほぼ停電」 「東北各地も死者相次ぐ—東京湾岸タンク爆発、火柱100メートル、進まぬ消火—各地で火災・土砂崩れ」 「大波人・家さらう—沿岸の町渦巻く濁流—仙台・若林区、水死体200~300人—住民『あつちは全滅』いわきルポー深まる夜闇、広がる炎、上空ルポ」 「家族は、仲間は—避難時は防災対策は・余震に注意—自治体などの連絡先」 /M 「岩板ずれ200キロ超—与野党、政治休戦—補正予算編成、成立へ」 「政府対策本部、発生51分後初会合—岩手・宮城知事、自衛隊派遣要請」 「規模阪神の100倍—余震、1ヶ月要警戒」 「インフラ広範囲マヒ—携帯サービス中断、漏水で給水中止—女川原発など自動停止」 「あふれる帰宅困難者、仕事切り上げ徒歩で家路」 「工事・物流ストップ—軒並み被災・停電、正常化見通しなし」 「浅い震源、大津波に—三陸沖沿岸過去にも、明治には2万人死者」 「津波に押し流され、大地のみ込んだ—仙台・

上空ルポ『本当の出来事か』—信号消え、道路渋滞—東京上空、電車止まり駅前に人あふれ」
「大揺れ—瞬で倒壊—住民パニック、各地で火災相次ぐ」／Y「宮城震度 7、10 メートル大津波と火災—原子力緊急事態を宣言、福島第一トラブル」
「浅い震源、津波巨大化—数百キロ断層動く、内陸部未曾有の被害—統一選の延期検討」
「観測史上最大、阪神の 180 倍エネルギー—『三連動』100～150 年周期で発生」
「原発『想定外』の危機、冷却水注入できず—福島第一、発電機が故障—炉心冷却装置、原発の『ブレーキ』—官邸に緊急対策本部、宮城、岩手、福島へ自衛隊派遣—中越沖では『柏崎刈羽』が被害」
「突如迫る猛火、家崩れ続く余震—岩手・大船渡、50 人屋上で孤立—横揺れに立てず波が一気、本紙記者体験」
「津波街を直撃—『子と連絡取れず』—官城、警察 3 階まで海水—高層ビルで火災」
「街が消えた…」

→3. 12 各紙社説

- A「東日本大地震—国をあげて救命・救援を」
- M「東北沖地震—救出、復旧に総力挙げよ」
- Y「東日本巨大地震—被災者の救助と支援に全力を」
- N「未曾有の巨大地震の救護に全力を注げ」
- T「私たちは助け合う—巨大地震・大津波」
- H「巨大地震発生—全容把握と救出救援に全力を」

3. 12 A 夕「東北沿岸壊滅的—陸前高田や相馬、街全体が水没—死者・不明 1,500 人に、東日本大震災—岩手、福島、津波被害 150 キロ—東北の新幹線、早期復旧困難」
「福島原発、放射能放出」
「津波、瞬時に襲来—『最悪の想定』超える、全容想像つかぬ破壊、福島—気仙沼沿岸北上一社会福祉施設・被害 181 件確認—文化財は 7 件」
「生産拠点ストップ—製鉄・自動車・食品工場も—支援食糧確保・発送へ」
「自衛隊 5 万人を動員へ—首相、ヘリで被災地視察」
「米救援隊 150 人派遣—NZ・韓国・EUからも—米艦 8 隻が日本集結へ、支援目的」
「原発、IAEA も注視」
「安否確認に伝言板—録音やコメント登録、通信各社—被災者の保険証不要、募金活動スタート」
「32 大学、入試中止—東北・関東」
「徹夜難民重い足—一区役所で一夜、駅は大混雑」
「列島、地震の連鎖—長野で『震度 6』3 回」
「放射能放出、5 万人避難—福島第一原発—1 号機、燃料棒露出—第二原発も緊急事態宣言—10 キロ県外へ避難急ぐ、『とにかく西へ』焦り—圧力逃す窮余の策、非常用発電なぜ停止」
／M 夕「死者、不明 1,200 人超—大津波で壊滅的被害—東北沖大地震、余震続く中懸命の救助」
「放射性物質漏えい—福島第 1 原発、燃料棒損傷か—M 5～6 地震続発」
「立ち上がる黒煙—消え去った街」
「人気のない街—がれき散乱ひざまで水、仙台・若林—被災者寒さに震え、着の身着のまま避難」
「集落『全滅だ』—『助かって欲しい』家族の願い砕く惨状—『情報足りない』孤立・避難、被害が拡大」
／Y 夕「車、人動く物見えず—孤立施設、屋上に『SOS』—石巻、白煙に覆われる—『食糧を下さい』気仙沼—津波 30 分で来襲、仙台、広い平野逃げ切れず—漏れたガスから火災」
「原発危機回避綱渡り、格納容器保全へ緊急策—半径 10 キロに、避難指示を拡大」
「地震連鎖 M 6 以上 20 回—地盤に刺激」
「不安抱え逃げる—原発の町『裏切られた』—バス・車で避難急ぐ—陸自、救援活動本格化」
「泥の海、街は粉々—列車、家に突っ込む—『動けない』助け呼ぶ声—『目の前を人が流された』、仙台・若林区、海岸から 3 キロ拡大」
／N 夕「原発、想定外の障害—福島第 1・2—安全確保に苦心、圧力制御できず」
「インフラ広範囲マヒ—東北・関東、停電 500 万戸超」
「怯える住民募る不安—『原発大丈夫なのか』—福島第 1 発電所、

半径 10 キロ住民避難—東電幹部、口重く—事態悪化、表情こわばる」「津波・災・街消えた—三陸沿岸、惨状あらわ—見渡す限り水浸し、上空ルポーがれきの中『助けて』、停電『食べ物ない』—市役所屋上に 100 人、陸前高田」／T 夕「有感余震 100 回超—2 万人を災害派遣、自衛隊と米軍」『長野・新潟誘発か』関東でも可能性—気象庁見解、応力の場に変化も」「原発重大な危機—放射能封じ込め失敗」『誰か、助けて』、迫る炎、為す術なく—気仙沼、うめき声姿見えず」「全部流された—泥の海、がれきの山—仙台・若林区—『車乗り捨て間一髪』助かった男性、斜面の下まで水—水たまりに遺体、夫の名前呼ぶ女性、南相馬」

☆福島原発「水素爆発」—避難地域拡大と恐怖

3.12 福島原発「水素爆発」

⇒政府・第 1 号機の避難指示対象を半径 10 キロから 20 キロに拡大／第二原発の避難指示範囲を半径 3 キロを 10 キロ圏に拡大

⇒3.12 南三陸町「1 万人不明」—宮城県発表、南三陸町町民約 1 万 7,300 人のうち約 1 万人の行方不明と発表 (3.12Y 夕) →3.13A 「福島原発で爆発、周辺で 90 人被曝か—第一 1 号機、炉心溶融、建物損傷—半径 20 キロ避難指示、最悪の事態回避へ懸命」「放射能見えぬ不安、原発、冷却てこずる—救援ヘリを待つ間に被曝、避難対象十数万人に」「何が起きているのか、福島原発避難指示—安全何キロ離れたら—『命の危機感じた』原発作業員」「原発で爆発、世界緊張—アジア、放射能流出を監視、原発回帰志向に冷や水」「海外メディア、日本に続々—強い関心、被災地入り」／M 「福島原発で爆発、国内初の炉心溶融—4 人負傷、半径 20 キロ避難指示—東電『事態は調査中』」「『想定外』繰り返す東電、炉心溶融—『禁止手』で事態回避、原発の対応に批判も—保安院『海水炉心冷却』、事実上の廃炉目指す」「原発『安全神話』崩れ、福島第 1 炉心溶融—袋工場のエネルギー政策、国民の不信再燃必至」「国際社会に衝撃—『日本最悪の日』—地震、大津波・放射能漏れ—『チェルノブイリ』想起、重大な関心—ロシア、『世界が学ぶべき教訓』—米国、原発建設再開に冷や水—中国、『増設計画変更ない』—韓国、大気の監視強める」「原発で—一体何が—『いつ帰れるのか』避難場所で不安な夜—東電会見『分かりません』、詳しい状況説明なく」「沿岸—帯無残、東日本大震災—『何もかもなくなった』南相馬ルポー、立ちすくむ住民—『生死すら不明』仙台若林区、遺体ががれきのなか」／Y 「原発爆発—政府の対応後手、非難指示拡大で混乱—東電対応に批判、経営責任問う声も」「経済、重大ダメージ—株全面安、金利上昇か—トヨタ・日産、再開困難—東北、部品の生産拠点」→3.13Y 「南三陸町『1 万人不明』—宮城県発表」「何もかも奪った、『1 万人不明』悲劇—南三陸、中学 2 階、涙の再会—三方が山、エネルギー集中か」／N 「国内最悪の原発事故、福島第 1 で炉心溶融—冷却水不足が原因、放射性物資拡散の恐れ」「放射線『情報ない』—住民、避難場所を転々」／T 「安全神話吹き飛ぶ、福島原発事故—炉の容器むき出し—水素ガスに反応、爆発—スリーマイルに迫る、被害レベル『想定外』—老朽 40 年、他では廃炉」『見えない』恐怖、『ここは大丈夫か』—周辺住民、正確な情報を—『安全性を見直せねば』立地自治体、深刻—反原発団体『恐れていた通り』、新規建設中止の声も」→3.13Y (特夕) 「数万人安否確認できず、地震規模は M9.0—気象庁修正、岩手・大槌町 1 万人不明」「福島第一原発、3 号機も給水機能喪失—1 号機放射能漏れ、190 人被曝の可能性」「地震国の原発難題、安定停止 3 基のみ—11 基中、保安院『冷却機能は保持』」「町機能全て止まる、岩手・大槌—町長連絡取れず、港から 1 キロの役場に津波—寒さ、不安、痛み深刻—

避難所、心身のケア急務』『どこへ逃げたら』、住民不安極限に一原発被曝、10キロ圏内なお80人一保安院『確認中』連発、説明不十分『押しつけあい』

☆原発恐怖—情報操作と計画停電の東京電力

- 3.13 東京電力、計画停電の実施発表—福島第1、2原発停止に伴う電力不足に対応するため、地域ごとに計画的に電力供給を停止する—栃木、群馬、さいたま、千葉、東京、神奈川、山梨、静岡の8都県を5グループに分け、時間帯ごと停電へ（3.14サ）→首都圏を大混乱に陥れる

→3.13 各紙社説

- A「大震災と原発爆発—最悪に備えて国民を守れ」
M「東日本大震災—原発制御に全力尽くせ」
Y「東日本巨大地震—原発事故の対応を誤るな—政府は各党は救援・復興策を急げ」
N「津波と原発事故の国難、直ちに総力結集を」
T「炉心溶融—的確な情報を速やかに」「被災者救援—『SOS』に早く応えよ」
H「被災者救援—1分でも早く、1人でも多く」
サ「原発爆発事故—安全軽視が招く重大事態、困難をはね返す力をみせよう」

- 3.13 東日本大地震をM9.0に修正—気象庁発表（3.13Y特夕、3.14各紙朝刊）

- 3.13 名古屋市議選—「減税日本」第1党に—「減税」28（解散時1）、自民19（同23）、公明12（同14）、民主11（同7）、共産5（同8）、計75（同73）／投票率43.96%（07年選挙時39.97%）（3.14T）

- 3.14 A『死者は万人単位』宮城県知事、見通し—死亡1,697人以上、安否不明12,412人以上（3.14午前0時現在Aまとめ）→3.14A「停電止まる経済、生活に大きな影響—輪番停電きょうから、企業、相次ぎ対応決定—ものづくり直撃、生産・輸出に影響大—港が壊滅、水産物品薄も—プラント議員、復旧難航」「地殻破壊3連鎖—計6分M9.0に拡大、規模世界4位—余震170回広範囲に、気象庁『M7以上確立70%』」「立ち尽くし『だめだ』たどり着いた家、母の遺体」「手を取り『生きよう』37万人、2,400カ所に避難、136市町村」／M「放射性物質他県に、福島第1原発—3号機も爆発可能性、燃料棒が損傷」「『JCO』教訓生きず」—拡大過程は不明、健康被害には直結せず」「専門家『非常に深刻』燃料棒2メートル露出、他の被災4基も警戒—電源確保にもろさ、ポンプ冠水で動かず」「東日本大震災—死者1,500人超、不明2万人」「11件34万人避難—自治体壊滅相次ぐ」「『M7余震確立70%』3日以内」／A「不安他の原発も—4基、安全確保まだ—非常発電機津波で故障」「米、原発回帰へ打撃—安全論争が再燃、日本に専門家派遣」／T「日本の安全無力—原発立地見直し急務、国の耐震指針には『合格』—非難指示後手に批判」「計画停電—信号、電車・生活直撃—停止、ダイヤ変更も、アイロンなど注意必要」「生産減少は不可避—節電、戸惑う産業界—鉄鋼、自動車など対応—休業、全国に拡大、主企業工場動かさず」／サ「首相自ら最大危機招く、停電周知せず了承—1号機爆発『東電の報告が遅れた』—原子力政策の転換点、60年長期運転見直しも」「自衛隊10万人体制—過去最大、統合部隊創設へ」／N「原発、各国が緊急点検—

米、日本へ専門家派遣—欧州『推進』に世論硬化も」

→3. 14 各紙社説

A 「マグニチュード9.0—救助と水と食料と薬を／原発情報、的確に早く」

M 「世界最大級地震—地殻あわせ立ち向かおう」

Y 「 」

N 「震災の拡大防止へできることを今すぐ」

T 「砕かれた「安全神話」—福島原発災害」

サ 「被災者多数—辛苦を分かち合う覚悟を／原発事故—情報の発信で不安鎮めよ」

H 「福島原発震災—対策尽くし住民不安に応えよ」

3 その他のニュース

3. 7 閣僚解任「ドミノ」—年金救済問題で細川律夫厚労相追及（参院予算委）（3. 8A）→3. 8A（社）「前原外相辞任—何時まで続く泥沼か／外国人と政治献金」／M（社）「短命『半年』外相—損なわれた外交の信用」／T（社）『政治の機能不全脱せよ—前原外相解任』／H（主）「前原外相辞任—菅首相の責任決して免れない」
3. 8 Mタ 「『非正規』最多15%、公立小中教員—計10万9,000人、人件費抑制で—教育の質に懸念も」—2010. 5. 1現在の文科省調査—公立小中校教員数69万9,567人—内訳は正教員58万8,794人、非正規（常勤・非常勤計）職員108,985人—05年度8万4,305人から年々増加
3. 8 「消費税、10%台後半」経団連—日本経団連「国民生活の安心基盤の確立に向けた提言」判明（3. 11正式発表）—社会保障費の増加に対応するため、現行の消費税率5%を10%にしたうえで、20年代半ばに20%代後半まで引き上げる必要があること、社会保障給付の抑制策を講じる一方で不足財源を賄うには「税負担割合の拡充が不可欠」と、消費税率の段階的引き上げを求める、但し、消費税率10%台後半の引き上げは、「社会保障制度の持続可能性を維持する」ための対応に過ぎないこと、財政再建も見据えた場合、消費税率換算で「20%を上回る財源確保が必要」と試算

☆検事調査で虚偽26%と「君が代」処分逆転判決

3. 9 新外相に松本剛明氏起用—外務副大臣・松本氏（51、兵庫11区、当選4回）（3. 10M）
3. 10 虚偽調査26%—「検察のあり方検討会議」第12回会合、最高検が先月、1,444人（他省庁出向者を除く）の検事を対象に実施した意識調査（1,306人回答）結果報告—実際の供述とは異なる方向で調書の作成を指示されたことがあるかとの問いに、「当てはまる」との回答26%（3. 11Y）←3. 9M「証拠改ざん、検事半数『組織に問題』—本誌調査、全面可視化懸念」
3. 10 「日の丸・君が代」処分取消し高裁判決—東京高裁（大橋寛明裁判長）、都に対する「君が代」

処分取消請求訴訟で教職員 167 人、逆転勝訴判決—都教委の通達、校長の職務命令自体の違憲性は否定したが、処分は「社会観念上著しく妥当を欠き、重きに失する」と判示 (3.11A、H) →3.11M 『日の丸・君が代』処分取消し、東京高裁—都教職員ら、167 人逆転勝訴—懲戒権逸脱を認定「都の強硬姿勢に一石」／H 『君が代』処分取り消し、東京高裁—都教職員 167 人、逆転勝訴—懲戒権の逸脱、違法」

⇒3.10 最高裁、元少年への死刑判決支持—94.9.末～10.初 4 人を殺害した元少年 3 人の死刑を支持 (3.11 各紙朝刊) →3.11M 「元少年 3 人死刑確定へ、3 府県リンチ殺人—最高裁、上告棄却」 「元少年 3 人の死刑確定へ—遺族『望んだ結果出た』、被告の支援者『厚生したのに』」 「(社)元少年 3 人死刑—厳罰化が強まるものの」／Y (社) 「元少年 3 人死刑—『厳罰』支持した最高裁判決」／T (社) 「3 少年に死刑—市民も直面する『問い』」

3.10 菅首相、違法献金の違い (3.11A) →3.11A 「首相に違法献金の疑い—104 万円、在日韓国人から—首相は未回答」

⇒3.11 菅首相、在日韓国人献金認める—06・09 年 104 万円、辞任は否定 (参院決算委) →3.11M 夕 『野党に進退問う声』

3.11 石原慎太郎都知事、4 選出馬表明 (3.11A 夕)